

燠 澗 潯 濟 澳 普 濡 潭 濛 墩 * 澡 燠

りじちょう おくやま はづき
理事長 奥山 葉月

今年2月、立川市で悲しい事件が起きました。事件は二人暮らしの無職の母親（45）と知的障害のある息子（4）が死後約二カ月経った遺体で見つかったというものでした。お子さんを心配されながら、倒れたのだらうと想像されるお母さんの思い、残されて不安で、ひもじくて、苦しかったお子さんのことを思うと障害者として、障害のある子どもの母として、また障害者を支援する団体を運営する者として、悲しく、せつなく、脳が痛みます。

この事件は「都会の孤独死」として、マスコミにも多く取り上げられ、NHKでは特集が組まれたほどでした。立川市でも今回の事件を重大なことから受け止め、関係4課にて検証を行ない、中間報告を市役所ホームページにて公表しています。なかには再発防止の策として、窓口にてひとり親の場合など緊急連絡先をできるだけ多く記載してもらような働きかけを行なう、旧庁舎跡施設に総合的な子育て支援拠点を開設計画などがあげられています。

当団体は、立川市より障害者の相談支援での委託事業をいただいています。ご利用されている方の中には単身の方も、高齢のご両親とご本人だけ、または母子のみで生活されている方もいらっしゃる、今回のようなことが起こる危険がないといえることができません。

実際（じっさい）に相談（そうだん）の現場（げんば）では、求め（もと）られる相談（そうだん）支援（しえん）もあれば、望（のぞ）まれない事（こと）もあります。ご本人（ごほんにん）やご家族（かぞく）の思い（おも）や希望（きぼう）を大切（たいせつ）にすることでどうしても踏（ふ）み込（め）めない部分（ぶぶん）もあります。しかし、このようなこと（こと）が起（お）きないよう、団体（だんたい）としても、各部（かくぶ）で検（けん）討（とう）、訪（ほう）問（もん）を行（おこ）なう、関（かん）係（けい）機（き）関（かん）の再（さい）チエックをするなどできるところから、着（ちやく）実（じつ）に行（おこ）なっていき（い）きたいと考（かん）え、実（じっ）行（こう）してまいります。



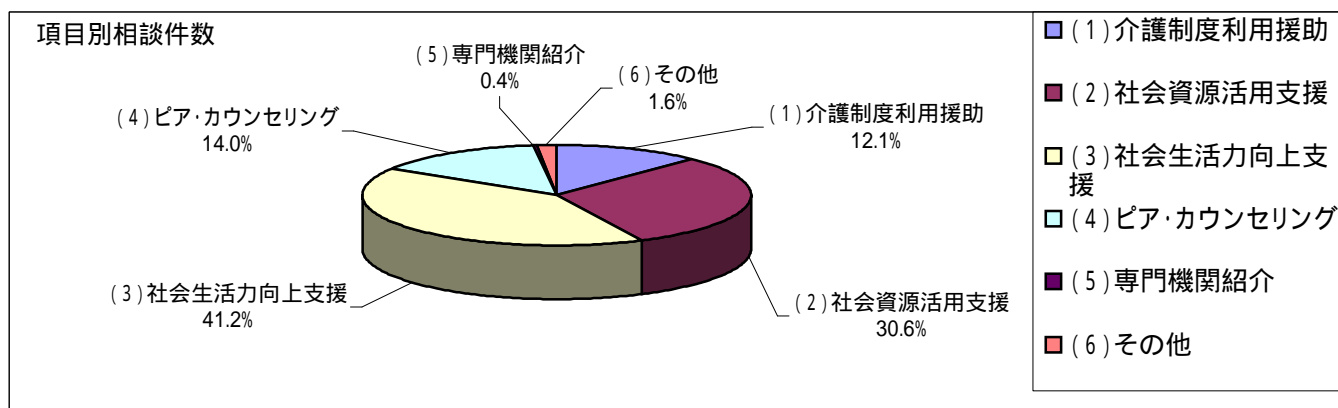
〔1〕相談業務件数（単位：件）

(1) 介護制度利用援助	203	(4) ピア・カウンセリング	235	計：1674
(2) 社会資源活用支援	513	(5) 専門機関紹介	6	
(3) 社会生活力向上支援	690	(6) その他	27	

2010年度と比較すると、「介護制度利用援助」「社会資源活用支援」「社会生活力向上支援」「ピア・カウンセリング」の各項目で相談件数が増加しています。

身体障害のある方では、障害の進行や体力の低下などから身体状況に変化のあった方が多く、介護時間数の見直しや医療ケア導入のための調整など、ご本人のご希望をお聞きしながら関係機関と連携を図り、サポートを進めました。

知的障害のある方からは、金銭管理や健康管理など日常生活を安心して送るためのご相談が多く寄せられ、年間を通して継続的に対応させていただきました。また、日中活動の場に関するご相談も増えており、ご本人に合った通所先を探すお手伝いや、移行にとともう支援も行ないました。



〔2〕その他業務、関係機関との会議等

- 立川市障害者週間イベント：11月20日～27日
実行委員会：7月5日、8月1日、9月8日、10月25日、12月14日、1月18日
23年度より福祉H.Lを含めた市内の障害者団体・支援機関のメンバーが委員となり、実行委員会が主体となって企画を進めました。期間中、742名の市民の方にご来場頂きました。
- 自立支援協議会 全体会：5月23日、10月13日、3月23日
生活専門部会：9月8日、事例報告会：10月3日、ヘルパー講習会：1月31日
昨年度に引き続きヘルパー講習会や事例報告会を開催し、障害のある方々が地域で安心して生活していくために必要な支援の検討を進めました。
- 障害福祉サービス提供事業所連絡会：1月21日
障害福祉課より福祉制度の変更点や今後の障害者施策の動向について、居宅介護派遣事業所へ向けた説明が中心でした。福祉H.Lからは障害者週間のご案内やご協力をお願いしました。
- 検討委員会：9月26日、2月20日
障害のある市民が感じているニーズを引き出すための方法などについて、ご意見を頂きました。
(鶴園 誠)

おかげさまで皆様の^{みなさま}連携^{れんけい}に支えられ、パティオは昨年度^{さくねんど}で開所^{かいしょ}10年^{ねん}を終えることができました。

①継続的に生活支援が必要な方や生活・社会資源の見立てを必要とする方、病状の安定に関する支援を望む方を対象に、生活の調整、訪問を活動の柱とする相談支援と、②生活課題の評価や生活する力をつけるなどの目的をもったプログラムを柱とするオープンスペースの場の提供、の二つを柱としたセンターとして、この10年で約900人強の方々の相談支援に携わってまいりました。

今年度はさらに一般相談にも力を入れ、登録者の方々はもちろんのこと、関わった方々といつでも“つながること・つなげること”ができる場所であるように、精神障害のある方の暮らしのお手伝いをしてまいりたいと思っています。

< 2011年度事業報告 >

登録者数 77 名 (2011 年 3 月末)

しょうがいしゃそうだんしえんじぎょう
障害者相談支援事業

精神障害のある方に対して、来所での面談のほか、生活している場に出向き行なう支援（アウトリーチ）、通所や訪問看護などの関係機関の利用に関して紹介や円滑に利用できるように連絡調整する（マネジメント）ことで、日常生活に関する総合的な相談を行ないました。

・延べ人数	めんだん 面談	・ 1 0 0 0 件	でんわ 電話	・ 5 2 1 1 件
	ほうもん 訪問	・ 4 0 7 件	かんけいきかんちようせい 関係機関調整	・ 1 5 1 0 件

ちいきかつどうしえん いちがた
地域活動支援センター 型

地域生活の維持、当事者エンパワーメントの支援を目的としたプログラム、他機関へのご紹介やご本人が課題を整理することを目的とした「アセスメント」機能を重視したプログラム活動を中心に実施しました。また、障害に関する理解を図るための普及啓発を目的とした活動等を行ないました。

< オープンスペース、プログラム^{りよう}利用 >

オープンスペース・・・計670人/250回	レディースデイ・・・計143人/24回
出るデイ・・・計167人/27回	お茶の子ハイサイ・・・計188人/42回
E!プログラム・・・計137人/19回	夕食サービス・・・計278人/45回
講座プログラム・・・計110人/15回	

<総括地域ボランティアの育成・障害に対する理解促進を図るための普及啓発>

ニュース発行・計 300部/6回 講座講師受入(パソコン、アート、絵手紙)・計 12回

家族交流会・参加者 8 名 精神保健福祉実習生・1 名 看護実習生・2 名

学生ボランティア・・・1名

当事者による退院支援グループ（りらく立川）への支援・協力

…多摩あおば病院訪問12回 定例会11回 多摩障害者スポーツセンターお泊り会1回

ちいきがくどうしえん とうじしゃかい こうりゅうかい かい
 ぽかぽかはあとなあ(地域活動支援センターあくせす当事者会)との交流会 1回

楽市(立川しみん祭)への参加と協力 明治学院大学への当事者講師派遣コーディネート

たちせいれんとして市内精神障害者福祉ガイド・ホームページ制作 障害者週間実行委員

＜立川市および市内関係機関との会議＞

自立支援協議会委員 立川市精神障害者グループホーム連絡協議会 地域精神保健福祉専門部会委員

立川市精神保健福祉業務連絡会 たちかわ退院支援会議 たちせいれん パティオ通信

たちせいれんホームページ制作担当 生活支援センター多摩ブロック会 (TTN) 地活連

(遠藤 雅子)

- 当就労支援事業では、就労専門部会に部会長として協力しています。知的障害者通所施設向けに就労支援に関する学習会を3回行ないました。立川福祉作業所から個別支援の充実により工賃アップにつながった事例報告、福祉事業センター村山苑(就労移行支援事業)から就労支援センターとの連携により企業就労に至った事例報告、当センターから市役所庁内実習の実践報告を行ないました。どの事例報告も、具体的実践的な部分が多く参加者に伝わりやすい内容のものでした。

(井上 貴央)

環渚渚渚渚 蟹渚渚渚
 堀報 楽蠟劉炎灸織 紵

* 既刊の通信でご紹介出来なかったプログラムについてご報告します。

女性また男性の障害のある仲間に向けたプログラム



女性版 おしゃれを楽しむプログラムとしてネイルアートにみんなでチャレンジしました。

【2/10 参加者7名】

男性版 男性といえど一人で行くには勇気がある場所へ、みんなで秋葉原のメイド喫茶へ出掛けました。【3/2 参加者4名】



外出ILプログラム 【10/7 参加者8名】

昨年度、ある水上バス会社から、車いすユーザーの乗船拒否を受けました。その後、その会社と乗船用の昇降リフトの設置にむけて話し合いを続け、約1年半後、乗船出来る環境を整えて頂きました。

プログラム当日は、電動車いすユーザーの仲間も気持ちよく乗船でき楽しむことができましたが、今回改めて、障害者が気軽に外出を楽しめない壁が沢山あることを、そしてその壁をあきらめずに壊していく大切さを実感しました。

その他協力員に向けたプログラム

C I L 立川の活動に協力して下さる障害者の協力員の皆さんに向けたプログラムの開催。新協力員にむけた研修 【5/24 参加者3名】

出前講座のスキルを上げる為の研修

【5/27 参加者8名】

協力員会議 【6/10 参加者10名】



渚渚渚渚 渚渚 蟹渚渚渚
 ソ杆濬瑯激場碰楽蠟劉炎灸織 紵

ランチタイム

障害者職員が毎月マスターとなり、ゆっくりランチを食べつつ、障害のある仲間達とお話しをする時間を持つてきました。毎月欠かさずに来てくれる常連の仲間もおりとても好評です。

2012年度からは、2ヶ月に1回、その都度テーマを作り、行なってます。

その他プログラム

出前講座 【年間73件】

市内小 中 高校、近隣大学、公的機関に協力員と出向き、障害者の生活・思いを知ってもらうために、交流ゲームや車いす体験などの活動を行なっています。

おすすめスポットの取材 【年間13ヶ所】

協力員が中心となり、障害のある仲間たちにおすすめしたい「工場見学」「カフェ＆バー」「ラーメン店」を取材・編集し、ホームページに紹介しました。是非、ご覧下さい。(<http://www.sh.rim.or.jp/~cilt/>)

(鈴木 徳子・大石 幸治)

外出プログラム“スカイツリーをみにいこう～うちとゆかいななまたち～”【6/17 参加者2名】

新しい発見をしたり、活動の幅を広げてもらうことを目的として、外出プログラムを行ないました。オープン前の東京スカイツリーを観て、その周辺を散策するという内容です。

参加者の声：「スカイツリーが大きくてびっくりした。完成したらまた行きたい。」「地域のキャラクターおしなりくんに会えてよかった。お土産も買えて楽しかった。」



“ひとりぐらししている先輩のはなしを聞いてみよう～自分の思いを話してみよう～”【10/1 参加者5名】

一人暮らしをしたいと思っても、「お金のことはどうしよう」「食事のことはどうしよう」など、不安を持っている人はたくさんいます。そこで、一人暮らしをしている先輩に話しを聞く機会を作り、不安を解消してもらうためのプログラムを行ないました。また、生活の参考にってもらうため、一人でできる簡単な食事作りと、障害年金についての勉強会も一緒に行ないました。

参加者の声：「一人暮らしの話がいろいろ聞けてよかった。ヘルパーさんを使ってみたい。」「年金でお金がたくさんもらえていることに驚いた。」「一人暮らしをしてみたくなった。」

“ストレス発散プログラム”【2/18・3/3 参加者6名】

ストレスとの上手な付き合い方を探るため、ストレス発散プログラムを2回に分けて実施しました。

1回目はストレスの原因について話し合い、2回目は、ストレスの話しに加え、「室内でできるストレス発散」をテーマに折り紙や歌、音楽鑑賞など室内でできる娯楽を行ないました。

参加者の声：「みんな同じようなことでイライラしているけれど、解決方法は人それぞれ。他の意見が聞けて良かった。」「すごく楽しかった。みんなの話しが聞けてよかった。気持ちを話せる仲間は大切だと気付いた。」「長年のストレスが完全になくなることはないけれど、みんなと話してアドバイスをもらったり、折り紙を楽しく折ることで、少しすっきりした。」

“うちと散歩”

本事業では、協力をお願いしている内山さんが街の中で不思議に思うことや気になること、分からないことをもとに、その疑問点などを調べています。今年度は季節お出かけスポットなどを中心に取材を行ない、記事にまとめ、当団体と関わりのある知的障害当事者の方へ配布しました。



取材テーマ	調査日
しょうわきねんこうえん はなみ 昭和記念公園お花見	2011年4月15日(金)
なんきょくほつぎょくかがくかん 南極北極科学館	2011年6月10日(金)
たちかわしょうがいしゃしゅうかん 立川市障害者週間	2011年11月25日(金)
え どうきょう えん 江戸東京たてもの園	2011年12月2日(金)
おおくにたまじんじや たかはたふ どうそん 大國魂神社・高幡不動尊	2012年1月20日(金)
す わじんじや 諏訪神社	2012年1月27日(金)
や ほてんまんぐう きょうどぶんかかん 谷保天満宮・くにたち郷土文化館	2012年3月16日(金)

今後も引き続き、当事者の声を尊重し、知的障害のある方が地域でより良い生活を実現できるよう取り組んでいきます。
(栗田 衣里菜)

【イベント・行事の実施】

(C I L)

- ・ 出前講座 (松中小, 立川高校, 一中, けやき台小, 九小, 八小)
- ・ ランチタイム (2/10, 3/30, 5/11)
- ・ 女性 I L P 「ネイルアートを楽しもう!」 (2/10)
- ・ 知的プログラム「ストレス発散プログラム」 (2/18, 3/3)
- ・ 男性 I L P 「メンズ in アキバ!」 (3/2)
- ・ 春の楽市 (4/22)
- ・ 内部研修 (4/27)

(就 労)

- ・ 茶話会 (3/10)
- ・ お楽しみ会 (3/30)

【連絡会・委員会・連携業務】

(C I L)

- ・ 障害のある人もない人も暮らしやすい立川市を考える会 (2/21, 28, 3/13, 16, 4/17, 26)
- ・ 障害のある人もない人も暮らしやすい立川市を考える会
地区別懇談会 (3/14)
- ・ 多摩療護園ワフスパーソ (2/23, 3/29, 4/19, 5/24)
- ・ J I L 関東ブロック会議 (2/23)
- ・ 立川市災害ボランティアネットワーク (4/24, 5/17)
- ・ 人権学習事業実行委員会 (4/24)

(H L)

- ・ H L 検討委員会 (2/20)
- ・ 事業所連絡会 (4/24)
- ・ 立川市障害者週間実行委員会 (4/26, 5/30)

(就 労)

- ・ 都意見交換会 (2/6)
- ・ 就労支援事業多摩ブロック会議 (2/17)
- ・ 立川市自立支援協議会就労専門部会 (2/28, 3/7)
- ・ 立川市自立支援協議会全体会 (3/23)
- ・ 多摩就労支援事業委託団体連絡会 (3/16)

(パ テ ィ オ)

- ・ たちせいれん (2/3, 4/27)
- ・ 立川市退院支援会議 (3/8, 5/10)
- ・ 支援センター多摩立川保健所圏域懇談会 (2/6)
- ・ 立川市地域活動支援センター連絡協議会 (2/17, 3/16, 4/20)
- ・ 立川市精神保健業務連絡会 (2/21, 3/27, 4/17, 5/15)
- ・ 立川市グループホーム連絡協議会 (2/23, 5/24)
- ・ パティオ検討委員会 (3/5)
- ・ 立川市自立支援協議会精神専門部会
(3/16, 5/18)
- ・ 立川市自立支援協議会全体会 (3/23)
- ・ 障害者週間実行委員会 (4/26, 5/30)
- ・ りらく新年会 (2/16)
- ・ りらく定例会 (2/16, 3/15, 4/18, 5/17)

とくでいひえいりかつどうほうじん じりつせいかつ たちかわ
特定非営利活動法人 自立生活センター・立川
 〒190-0023 東京都立川市柴崎町 2-10-16 オアノ
 ビル 2F
 TEL : 042-525-0879 FAX : 042-521-3134

【外部への見学・研修・イベント】

(C I L)

- ・ 医療的ケアシンポジウム (2/7)

- ・ C I L 昭島学習会(2/7)
- ・ H A T 内部研修会(2/22,4/18)
- ・ 人権学習事業実行委員会ミュージカル(2/26)
- ・ T I L 学習会(3/1)
- ・ 立川断層ウォッチング(3/30)
- ・ I L P リーダーズ(4/11)
- ・ 介護保証協議会他主催 相談支援研修会(4/25)
- ・ 社会福祉士実習指導者講習会(5/12,5/19)
- ・ 手をつなぐ親の会総会(5/24)
- ・ 国際セミナー (5/25)
- (H L)
 - ・ 東京都介護支援専門員実務研修(5/22.25)
- (就労)
 - ・ 八王子ふらん研修(2/29)
- (パティオ)
 - ・ 東京都相談支援従事者初任者研修(2/6.8.14.15)
 - ・ マーキー活動報告会(2/18)
 - ・ 立川市自立支援協議会就労専門部会学習会(3/7)

【外部からの見学・研修・イベント】

- (C I L)
 - ・ 東洋大学学生見学(5/7)
- (就労)
 - ・ 武蔵台特別支援学校見学(3/5)
- (パティオ)
 - ・ 実習生(昭和の森看護学校) (2/16,5/24) 4名

【講師派遣】

- (C I L)
 - ・ 東京都相談支援従事者初任者研修(2/14.15)
 - ・ 東京都相談支援従事者現任研修(4/27)
 - ・ 民生委員障がい福祉部会(5/21)
- (就労)
 - ・ 発達障害を考える「サンライズの会」(5/22)

ご寄付等、ありがとうございました

- ・ 株式会社オレンジジャムコ 様
- ・ 日本基督教団 国分寺教会 様
- ・ 出浦 郁子 様 ・ 杉本 靖雄 様
- ・ 佐藤 猛伸 様 ・ 伍井 正幸 様
- ・ 鈴木 正子 様 ・ 黛 正 様
- ・ 匿名 1 名 (順不同)